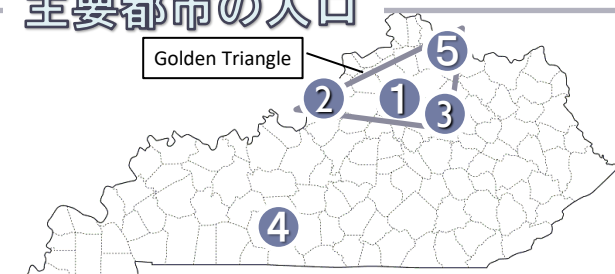


- 州都： フランクフォート (Frankfort) ○ 最大都市： ルイビル (Louisville)
- 人口： 4,505,836人 (全米26位： US Census Bureau (2020))
- 面積： 102,240平方キロメートル／39,475平方マイル (全米36位)
- 略史： ケンタッキーの州名は、インディアン語のKen-Tah-Tekに由来し、“Land of Tomorrow”を意味する。ヨーロッパ人がこの地域に現れたのは、他州に比較すると遅く、17世紀終わり頃であった。当初はバージニアの一部に含まれていたが、1792年に独立の州となって合衆国に加盟した。葉煙草、バーボン・ウィスキー、競馬が有名で、“Bluegrass State”の愛称で知られる。

主要都市の人口



① 州都	フランクフォート
	28,602
②	ルイビル
	246,161
③	レキシントン
	322,570
④	ボーリンググリーン
	72,294
⑤	コビンソン/アーランガー/フローレンス (シンシナティ*)
	92,518 (309,317)

*オハイオ州シンシナティは川を挟んで隣接

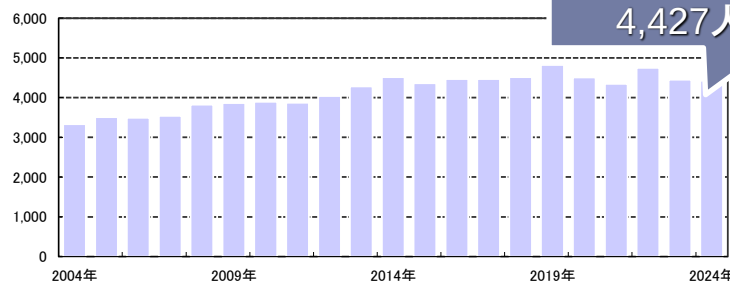
(出典：U.S. Census Bureau (2020))

人種・エスニシティ別人口構成

白人	86.7%
アフリカ系	8.8%
アジア系	1.8%
ヒスパニック系	5.0%

在留邦人数の推移

(在留届けベース)



2024年4月現在
4,427人

駐日事務所

ケンタッキー州アジア代表事務所 (東京都港区)

<http://www.kentucky-net.com/>

一般に米国北部と南部を隔てる境界線として知られるメイソン・ディクソン線のすぐ南側に位置するケンタッキー州は、南北双方の性格を併せ持つとも言われる。政党支持の傾向としては、他の南部諸州と同様、共和党支持層が増大しており、2016年11月に実施された選挙にて共和党が96年振りに州議会下院の過半数を獲得し、連邦議員に加え、州議会両院共に共和党が多数を占めることとなった。州知事は民主党出身。ケンタッキー州は、リンカーン元大統領（共和党）の出身州でもある。

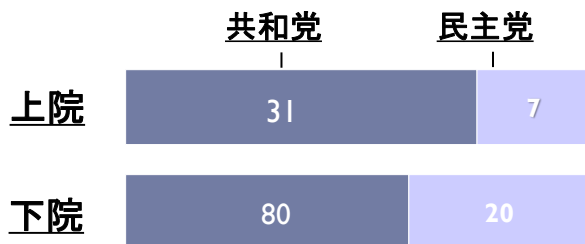
ケンタッキー州政府

○ 州知事（任期4年）

アンディ・ベシア
(Andy Beshear)

民主党。1977年11月29日生まれ。
2020年12月より現職。現在2期目。
父親は2代前の州知事(Steve Beshear)。

○ 州議会（2024年会期）（2024年7月末時点）

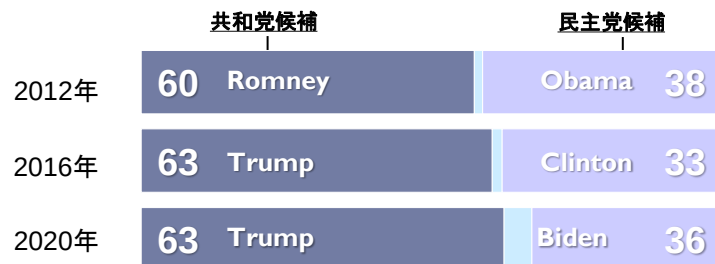


上院：定数38議席、任期4年
下院：定数100議席、任期2年

ケンタッキー州選出連邦議員

連邦上院議員 (任期6年)		Mitch McConnell	共和党
		Rand Paul	共和党
連邦下院議員 (任期2年)	1区	James Comer	共和党
	2区	Brett Guthrie	共和党
	3区	Morgan McGarvey	民主党
	4区	Thomas Massie	共和党
	5区	Hal Rogers	共和党
	6区	Andy Barr	共和党

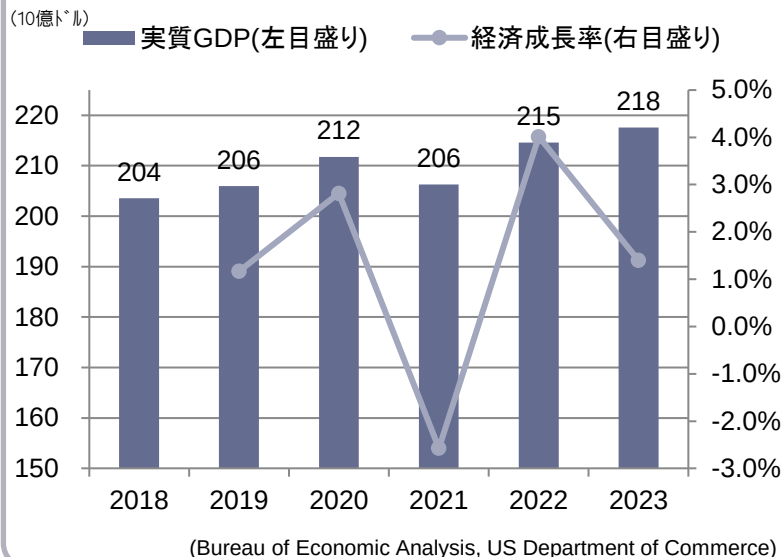
大統領選挙結果（ケンタッキー州）



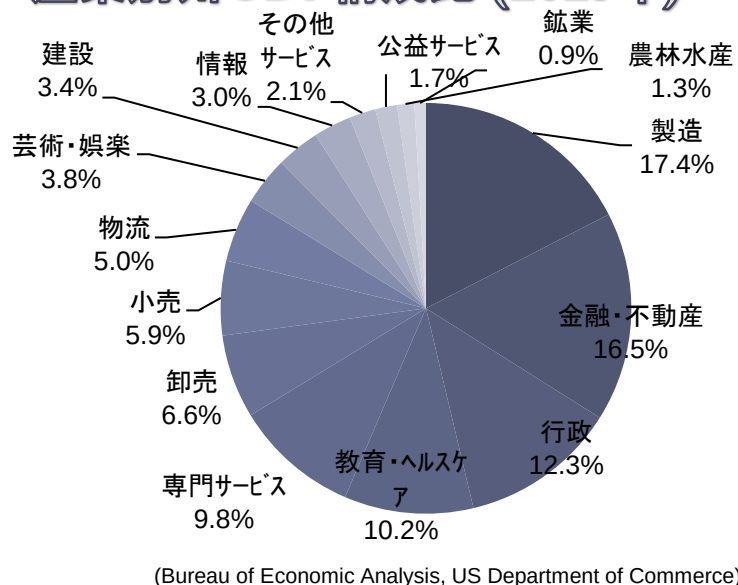
（出典：ケンタッキー州務長官）

過去には、石炭採掘と農業・畜産業が州経済の基盤であり、葉タバコ、バーボン・ウイスキー、競馬が有名な州であった。1913年からフォードの生産工場があり、1980年代にはトヨタが進出するなど、自動車関連の製造業が大変盛んな地域となっており、近年は航空宇宙産業が進展している。米国中東部の中央という好立地から、DHL、UPS、Amazonが空港ハブや物流拠点を多数設置。コロナ禍により経済活動に打撃。2021年、失業率は回復している。

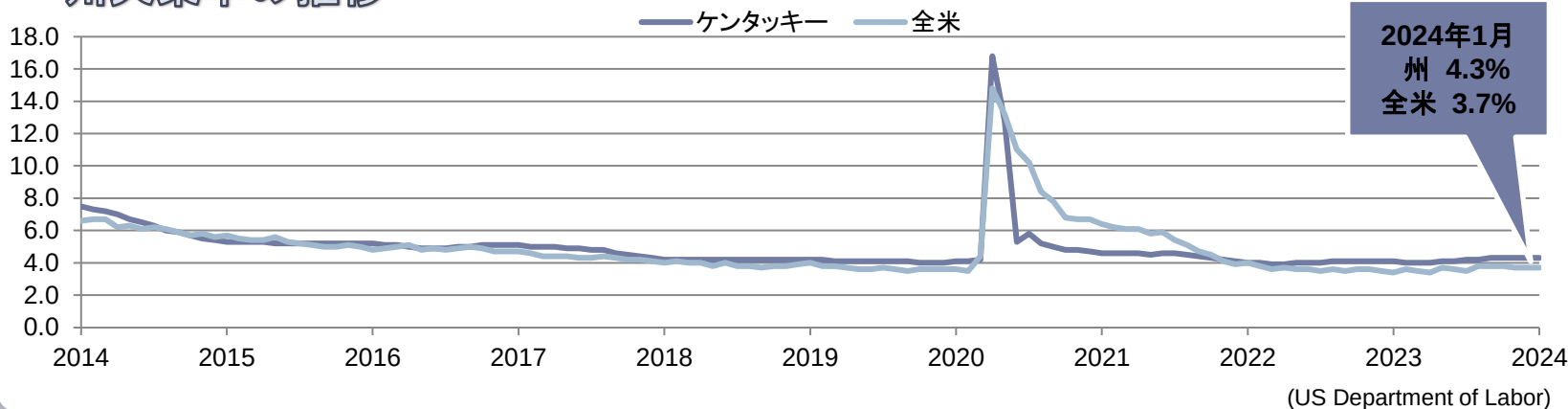
州GDP及び経済成長率



産業別州GDP構成比 (2023年)



州失業率の推移



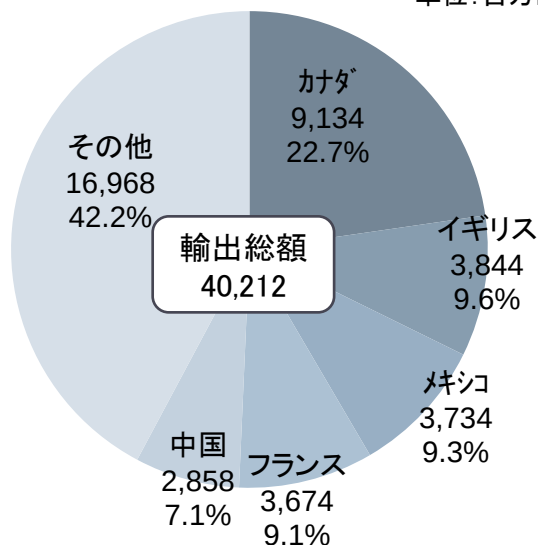
■ ケンタッキー州の主要な貿易相手国は、カナダ、メキシコ、中国、英国である。日本は、輸出で第9位、輸入で第2位の貿易相手国。

■ 対世界輸出額は402.1億ドルで、主な輸出品目は輸送機器、化学製品、コンピューター・電子機器、機械、金属加工品など(2023年)。

■ 対日輸出額は11.9億ドルで、主な輸出品目は化学製品、輸送機器、飲料・たばこ製品、コンピューター・電子機器、機械、畜産物、金属加工品など(2023年)。

輸出 (2023年)

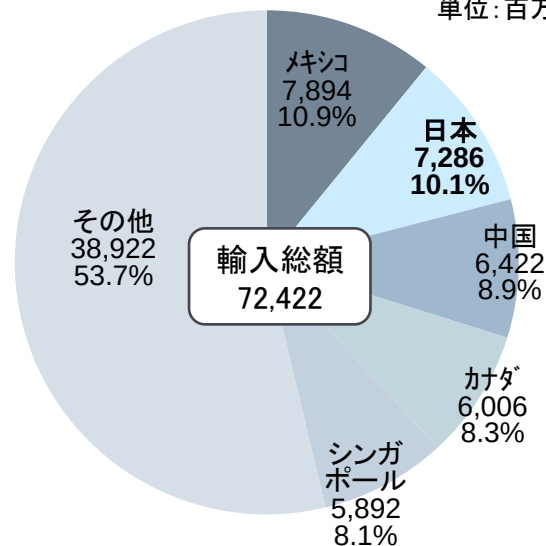
単位: 百万ドル



(出典: United States Census Bureau)

輸入 (2023年)

単位: 百万ドル



(出典: United States Census Bureau)

■ ケンタッキー州内で活動している日系企業は199社。州内に進出している外国企業数は日本が最多。次いでドイツ、カナダ、イタリアなど。

■ 日系企業による雇用者数は約45,000人であり、外国企業による雇用数も第1位。

■ ケンタッキー州内では、トヨタが世界最大の製造拠点を持つほか、日立アステモ、曙ブレーキなど多くの自動車部品企業が現地で生産を行っている。また、国際運輸企業のヤマト運輸、工作機械メーカーのマザック、アルミニウム生産のUACJや、飲食料品企業のサントリー、麒麟、ミツカンなど、様々な分野の企業が進出している。